

救急車2台が出動中にまた急病人やけが人が出て救急車が必要になったり、けが人がたくさん出たりした場合には、山都分署や喜多方消防署から救急車が出動します。

消防署は、火事にそなえるだけでなく、24時間いつでも救急車が出動できるように交たいでつとめています。

しょうぼうだん

消防団のはたらき

西会津消防署からポンプ車が出動して一番時間がかかるのが、奥川地区の弥平四郎です。約40分かかります。もし、弥平四郎で火事がおきたら、ポンプ車がつくまでの40分で、火事はどんどん広がってしまいます。

しかし、こういう場合いち早くかけつけて、消火活動をする人たちがいます。これが、消防団です。地域の人たちでつくっているそ

しきです。消防団の人たちは、消防署の署員とちがいで、ふだんは会社につとめたり、自分の家で仕事をしたりしていますが、火事がおきた時には、すぐ現場にかけつけられるようにしています。

西会津町には、5つの分団があります。それぞれの分団は、さらにいくつかの班に分かれています。すばやく消火活動ができるように、

各消防団と西会津分署からのきより

